

キュウリに対する活根彩果試験



<試験概要>

- 試験場所 千葉県旭市
- 品種 千秀2号（台木：ひかりパワーゴールド）
- 定植日 2016年10月14日
- 散布方法 500倍希釈液を1週間に1度8回灌水
- 散布日 10/14、21、28、11/4、11、17、25、12/2
- 散布コスト 1反1回当たり原液を200ml(460円)使用×8回散布 1反当たりのコスト3680円
- 最終測定日 2016年12月9日

<サンプル採取方法>

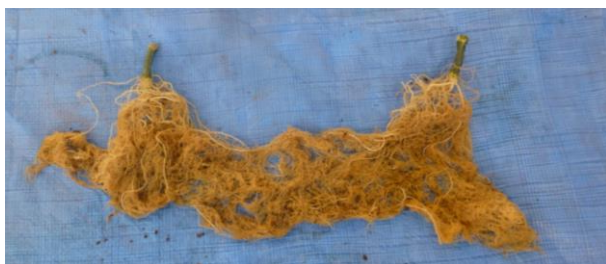
- 試験個体 試験区2本 対照区 2本
- 栽培方法 90Lプランター1つあたり2本定植し、約2か月間後の根の生育を比較した。

<試験結果>

試験区：57.1 g



対照区：28.1 g



●試験区、対照区ともに、1晩通風乾燥させ、2株合計の乾物重量を測定した。

●試験区は57.1 g、対照区は28.1 gであり、2倍以上（203%）重量が増加した。

●試験区は対照区に比べ、根1本1本が太く、しっかりとしていた。さらに、対照区では根こぶ線虫病がみられたが、試験区では発生しなかった。

●試験区では活根彩果を散布したことにより、新根の生成が促進され、常に根が新しく健康な状態に保たれるため、病気への抵抗性が増していると考えられる。



対照区



試験区